

ツバメ巣箱モニター調査結果

この度は、ツバメ巣箱モニター調査にご協力いただき誠にありがとうございました。
皆さまからの事後アンケートにより、いくつかのことが分かってまいりましたので
皆さまにご報告させていただきます。

1.はじめに

昨年当会が行った「ツバメ全国調査 2012」で、ツバメ減少の要因の中で 2 番目に多かったのが「人の手による巣の撤去」でした。ツバメが営巣すると、巣からフンが落下するため仕方なく巣を落とさざるを得ないケースも十分ありえると思われます。一方、ツバメは昔から益鳥として人々の暮らしに関わりながら命をつないできました。「今まで人とツバメが築いてきた関係をなんとか持続できないか？」そのような思いから、この巣箱モニター調査を発案しました。

今回の巣箱モニター調査は、やむを得ずツバメの巣を落とさざるを得ないケースに対し、『**巣箱**』という手段を使って、ツバメに営巣位置を変えてもらうことができるのか？』という仮説を明らかにするために行いました。

2.ツバメ巣箱モニターの調査方法

イギリスの自然保護団体 RSPB で販売しているツバメの巣箱「SWALLOW Bowl」を、全国の皆さまにご協力いただき、約 100 か所に設置しました。設置期間は 2013 年 3 月～で、巣箱モニター調査は、2013 年 7 月まで行いました。ツバメ巣箱モニターの当選者 100 件のうち、事後アンケートをご提出いただいた 80 件の結果をもとに、データを分析しました。

3.結果

3-1.ツバメは巣箱を利用するのか？

- 事後アンケートをお送り頂いた 80 件のうち、
- ・ 9 件で巣箱の利用が確認されました。
 - ・ 9 件のうち、巣立ったのは 6 件、合計 32 羽の雛が巣立ちました。
 - ・ 残りの 3 件は、
「巣箱に巣材を運んだ」1 件、

「産卵まで」1 件、

「巣立ち前に襲われた」1 件 でした。

このことから、ツバメは巣箱を利用することが確認できました。

3-2.ツバメが巣箱を利用するのはどのような場合か？

まず、巣箱の設置位置による違いがあることがわかりました。

表 1 は巣箱設置場所と巣箱の利用状況を示したものです。巣箱を利用した 9 件のうち 8 件(a)が、昨年営巣していた場所と同じ敷地内に設置した巣箱を利用していました。このことから、**昨年営巣していた場所と同じ敷地内に巣箱を設置すると、ツバメは巣箱を利用する可能性が高くなるという結果になりました。**

(表 1) 巣箱の設置位置と巣箱の利用状況

巣箱の設置位置	利用 した	利用 しな い	計
昨年営巣していた場所と同じ敷地内に設置した	8(a)	37	45
約 100m圏内にツバメが営巣していた	0	17	17
約 100m圏内にツバメは営巣していなかった	1	14	15

次に、昨年営巣していた場所と同じ敷地内に巣箱を設置した 45 件のうち、昨年の巣をそのままにしていた場合と、昨年の巣を落としたまたは落とされたままにしていた場合とを比べてみました(表 2)。

(表 2) 昨年の巣と巣箱の利用状況

昨年あった巣を・・	利用した	利用しない	計
そのままにしていた	2(b)	29	31
落とした (落とされたまま)	7(c)	7	14

巣箱を利用した 9 件のうち、昨年あった巣をそのままにしておいた場合が 2 件(b)、昨年あった巣を落としたか、落とされたままの場合は 7 件(c)でした。

このことから、昨年あった巣をそのままにしておくより、巣を落とした方が、巣箱を利用する可能性が高くなるという結果になりました。

さらに、昨年営巣していた巣をそのままにしていた 31 件の巣箱の利用状況を表 3 に示しました。

(表 3)

	件数	割合
巣箱を利用した	2	6%
昨年の巣を利用した	19	61%
どちらも利用しない	10	33%
計	31	100%

昨年あった巣をそのままにしておく、巣箱を設置しても、昨年の巣を利用する割合が高くなる(61%)という結果になりました。

◎以上のことから・・・

- 1) 昨年、営巣場所として利用していた場所の近くであること、
- 2) 昨年あった巣をそのままにせず落とすこと、
という条件下で、ツバメが巣箱を利用する可能性が高いという結果になりました。

3-3. ツバメの巣箱を使って、ツバメの巣を移動させることが可能か？

昨年も同じ敷地内で営巣し、今年巣箱を利用した 8 件のうち、昨年の営巣場所と、巣箱を設置した位置の距離を表 4 に示しました。

(表 4) 昨年の営巣場所と巣箱の距離

昨年の巣と巣箱の距離	件数
0～0.5m	4
0.5～1.0m	2
2.0～3.0m	2

このことから、昨年営巣していた巣の位置から 3m 程度までの距離なら巣箱を使い、巣を移動させることができるという結果になりました。

4. その他

その他、事後アンケートでは、様々なご意見をいただきました。その中でも多かったのが、「巣箱の設置位置が分からず苦労した」や「巣箱が重く、設置に苦労した」等でした。今後、巣箱設置場所の解説書を添付する事や、素材を変更する等、検討を進めます。

5. まとめ

この度初めての調査のため、断言できる実態とは言い切れませんが、**昨年もツバメが営巣していた場所で、昨年使用していた巣を落とし、営巣させたい場所に巣箱を設置すれば、ツバメの営巣位置を変えられる可能性が見えてきました。**この結果をもとに、更にモニター調査を続け、人の手によって巣を撤去せざるを得ない場合の効果的な対応策として、巣箱が活用できるかの可能性を探っていきたいと考えています。

6. 謝辞

今回のツバメ巣箱モニター調査では、全国の皆さまにご協力いただき、様々なことが分かってきました。首都圏に限られましたが、営巣中の巣箱の様子を観察させていただくためお宅や会社にお伺いさせていただきました。

また、今回の巣箱モニター調査は当会としても初めての試みのため、至らぬ点が多々あったことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。次年度は内容を変え、モニター調査を実施したいと考えています。今後とも当会の活動にご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



<皆さまからいただいた、ツバメの写真(抜粋)>



巣箱の周りに泥をつけています。



親は何度もエサを運びます



巣箱を土台にして営巣した例



昨年あった巣を使って繁殖・・・。



巣箱は親の見張り場所に・・・。



巣立ち直前の様子。



スズメが使用した例もありました。



皆さま、ご協力、ありがとうございました！